

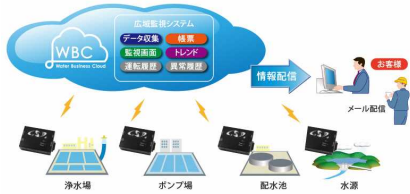
高知県水道ビジョン推進協定に基づく県の主な取組予定

水安全計画

○ 水安全計画の策定促進

県代行モデル事業として、須崎市及びいの町の水安全計画の策定業務を県が主体となり、水安全計画の策定と運用の経験を持つ水質の専門ノウハウを有する協定者の助言を受けながら実施。さらには、推進部会等において、実務者を対象とした「『水安全計画作成支援ツール簡易版』活用の実演セミナー」をします。

策定した計画の運用や、計画そのもののブラッシュアップにおけるPDCAサイクルの実践に関しては、ICT（クラウドサービス）を活用した効率的な監視・記録管理や計画支援・維持管理（水質管理含）等を包括した官民連携等の有効性を検討します。



安全に関する提案内容

クリプト対策

○ クリプト対策の取組み促進

1) 最適な浄水設備導入の検討

- 県代行モデル事業として、モデル事業体の浄水処理方法の技術的な検討を行います。
 - ①各種膜の特性を考慮した膜ろ過選定方法に関する検討など
 - ②小規模な施設に対しては、安価でかつ工期を短縮できるパッケージ型装置の検討など
 - ③紫外線処理設備については、従来の水銀ランプ方式のみならず、UV-LED方式等、最新技術に関する検討など

2) 柔軟な施設整備手法の検討

新たな施策としてリース方式による整備手法を検討します。浄水装置をリース契約で導入することで、多額の初期投資が不要になるとともに、使用期間や移動等に柔軟性が生まれます。ケーススタディとして具体的に導入した場合の施設整備手法の比較検討を行います。

浄水場統廃合やダウンサイジングの手段として有効

- ①必要期間（限定期間）にあわせて設備利用が可能
- ②多額の初期費用が不要（固定の3条費用のみ）
- ③アフターフォロー（保守・点検サービス等）が充実

水道BCP

強靱に関する提案内容

○ 高知県における水道BCPの策定

高知県では応急期機能配置計画が実施されることから、水道BCPの策定においてはBCP簡易様式等を活かしつつ、「事前対策」と「応急対策」の2つの視点から策定の検討を行っています。

事前対策は、広域連携に繋がる「災害時等緊急時の資機材」「災害時対応体制の構築」に重点を置き、応急対策は、「応急期機能配置」を見据えた水道水の確保、総合防災拠点と地域防災拠点を軸にした復旧計画の策定に重点を置きます。

具体的な検討内容として、県及び各事業体職員を対象とする事業継続ワークショッププログラムにより、BCP策定と演習を通じた課題発見・解決の年次PDCAサイクルの導入を実現し、自立的かつ継続的に水道BCPを発展させたいと考えています。



水道施設台帳

持続に関する提案内容

○ 連鎖性を持った検討

<h4>1. 水道台帳整備における問題点の把握</h4> <ul style="list-style-type: none"> AM[※]を推進するための課題整理 AMの課題解決のための台帳の役割整理 事業体の類型化と、台帳整備における現状と問題点の整理 	<h4>3. 継続的な運営支援に向けた枠組み検討</h4> <ul style="list-style-type: none"> 継続的な水道施設台帳運用のための必要事項整理 AMに活用するための必要事項整理 民間企業の協力に基づく継続的運営の検討 民間企業活用時の協議方法・役割分担例の提示
<h4>2. 効率的な水道台帳整備の在り方の検討</h4> <ul style="list-style-type: none"> 問題点に対応した効率的な整備手法の検討 国の支援制度・施策を利用できる可能性の検討 他事業体の事例整理 高知県における水道施設台帳整備の在り方の提示 	<p>上記の3段階ステップによる連鎖性をもった水道施設台帳に関する検討を行います。</p> <p>※AMとはアセットマネジメントの略</p>